都市農村交流で新しい楽しみをつくる

地域のよさを再発見したり感動を味わったりしませんか？

忍者の里こうかで 田舎体験！

修学旅行や宿泊を伴う野外活動の

受入家庭大募集!!

畑仕事をしている様子

にんじゃえもん

都市住民が自然豊かな田舎でゆっくり過ごし、自然や食に触れる都市農村交流がとても注目をあびています。その理由のひとつに、受入側である家庭にも新たな出会いや経験で楽しみが増えていることがあります。

夕食準備の様子

ぽんぽこちゃん

甲賀市では、教育旅行（修学旅行など）の農村生活体験「忍者の里こうかで田舎体験」の受入を実施しています。
農山村での生活体験・郷土料理づくりなどを通して、子どもたちは、生命の尊さや食の大切さを知り、思いやりの心や豊かな人間性を育みます。

そんな感動体験のお手伝いをしていただける受入家庭を募集しています。

お問合せ お申込み

甲賀市都市農村交流推進協議会

甲賀市都市農村交流推進協議会は、甲賀市、甲賀市教育委員会、甲賀農業協同組合、甲賀市商工会、甲賀市観光協会、信楽町観光協会、滋賀中央森林組合、土山漁業協同組合で構成された組織です。

[事務局]　〒528-8502 甲賀市水口町水口6053番地　甲賀市役所農業振興課内

TEL：0748-69-2192　FAX：0748-63-4592

Eメール：ninjanosato@gmail.com

今まで受入をしてくださったご家庭の皆さんの声

にんじゃえもん

朝6時からの散歩を通して、
朝に学生がヘルメットをかぶって
自転車通学していること自体が不思議と言っていた。
また、お年寄りが旗を持って
横断歩道に立つことも新鮮だったようだ。

1回目は肩肘を張ったが、
2回目は気楽だった。

1泊2日では短かすぎる。
本格的な交流をするには、
最低でも2泊3日はしてほしい。

中学生から
元気をもらえた。

収穫から料理までを体験して
もらったのはよかったと思う。

自然のままを見てもらう
というスタンスで接したら、
気負わずに受入ができた。

何か特別なことをしようと
思ってもできるものではない。
自分にできないことは学生にも
できないのだから、
できることをやるのがいい。

1泊2日してもらうだけだったが、
「いま、あの子はどうしているのだろう。」
という気持ちになった。

われわれがごく普通にしていることが、
彼らにとっては全く初めてのこと。

よくある質問

Q：受入ってどんなことするの?大層なことせんとあかんのと違うの?

A：通常、1軒につき4名程度を受け入れていただき、一緒に普段どおりの生活を送っていただきます。都会からやってくる子どもたちにとっては、農山村での普段の生活そのものが新鮮な体験です。特別なことをせず、庭の草むしりでも何でも、その時々にご家庭でやっておられることを一緒にやっていただくことに意味があります。

Q：これってボランティアなん?受入するのは楽しそうやけど、何回も受け入れたらお金がかかりそうやなぁ。

A：例えば4名1泊の受入の場合、体験受入謝礼金として25,000円程度お支払いしています。

Q：うちは非農家やし無理かなぁ?

A：非農家のご家庭でも、農山村や甲賀市らしい体験ができれば大丈夫です。また、宿泊はご自宅で、体験はお知り合いの田畑で、という組合せも可能です。

Q：体験ってどんなことしたらいいの?雨が降ったらどうするの?

A：家庭菜園の手入れやおやつ作りなど、いつもどおりの生活を一緒に送っていただければ結構です。参考にしていただけるよう、今までの体験リストを作成しています。

Q：食事が心配。何を作ったらいいの?

A：家の畑で採れた野菜で、子どもたちと一緒に肉じゃがなどのお料理を作るのが一番のごちそうです。参考にしていただけるよう、今までのメニューをリスト化しています。

Q：事故やけが等、万一のことがあったらどうしたらいいの?

A：受入家庭の皆さんにも安全には気をつけていただきますが、安全対策や緊急対応は協議会と学校の役割です。また、協議会では、もしもの場合に備えて賠償保険に加入していますので、ご安心下さい。

Q：いきなり受入するのは心配やけど、研修とかはないの?

A：初めてのご家庭でも安心して受入していただけるよう、受入事前研修を開催しています。その他、料理講習会や体験スキルアップ講座なども開催予定です。

ぽんぽこちゃん

(2014/02)